

北日本新聞八月十六日 二十七面の記事

破波の獅子舞の記事を読んで

入善西中学校 二年 大川原 明希

私は、砺波市の獅子舞の写真を見て、砺波市の文化に興味を持ちました。また、その魅力を知りたいと思い、この記事を読んでみようと思いました。

この記事は、「獅子舞の継承と活性化を目指す取り組み」についての内容が書かれています。私の入善町でもこのような獅子舞やえびす祭などがあります。しかし、私はこのよ

うな祭りや、担い手不足の問題に関心があります。でも、しっかりと地域の伝統や、その課題に目を向けないといけないという思いが高まってきました。ちょうど、この記事は、地域の伝統について深く考えるきっかけになると思いました。

砺波市では、「砺波市獅子舞連絡協議会」を発足し、継承と活性化を目指しているのを知りました。「砺波市獅子舞連絡協議会」を設け、競演の場をつくるという取り組みは、各

獅子舞団体がすすんで参加していけるだろう  
と思いましたが、担い手不足で約20の団体が活  
動を休止しているようですが、この取り組み  
がすすめば、たくさんの方々の団体の再活動が期待  
できると思います。砺波に来た観光客にも  
伝統を伝えられることは良いことだと思います。  
また、「保存会の運営について悩みな  
どの情報を交換することで組織の活性化や継  
承につなげる」という取り組みは、今まで聞  
いたことはありませんでした。競演の場をつ  
くるだけではなく、悩みなどの情報交換をす  
るのは新しいと思います。東日本大震災との  
被災地との交流もあるのもおどろきました。  
砺波市の獅子舞団体は東日本大震災の被災地  
の方々と交流を深め、元気を与えているのだ  
なと思います。

私は獅子舞を見たことがありますか、実際  
にやっていたことはありません。だから、いつか  
獅子舞の中に入って踊ったり、笛や太鼓をた  
いたりして伝統文化を楽しみたいと思います。

した。また、この記事を読んで、獅子には、「砺波獅子」のほか「氷見獅子」や「金蔵獅子」などの様々な獅子があることを知りました。地域などの違いを見比べてみたいと思いました。

私はこの記事を読んで、地域の伝統文化を受けつぐことの大切さを知りました。今は少子高齢化が問題となっていて、若い人たちも伝統文化に興味をもたなくなっています。それでも、地域で保存会に参加するなどして、昔からの伝統を子孫に残したいです。私も積極的に力になれるように努力したいです。